

「道の駅」等拠点施設による 地域活性化

「道の駅等観光拠点施設の導入に関する調査研究事業」報告書
☆2010年2月道の駅等設置への参考資料として☆

長生村商工会

(平成21年度千葉県地域経済活性化提案型事業)

もくじ

1. 「道の駅」とは？

- 1-① 道の駅の概要と施設イメージ
- 1-② なぜいま道の駅が求められるのでしょうか
- 1-③ 道の駅ができるまで

2. 「道の駅」による地域活性化

- 2-① 県内の道の駅の活動事例紹介(おおたき、みよし、はすぬま)
- 2-② 農産物直売所の活躍(ふれあいパーク八日市場)
- 2-③ 道の駅に期待される地域活性化効果(事業者等アンケート及び意見まとめ)

3. 「道の駅」をつくるとしたら

- 3-① 道の駅の収支計画の考え方(農産物直売所・商品販売・レストラン等)
- 3-② 長生村につくる場合のポイント(特長、立地、店舗構成、機能、組織など)
- 3-③ 「道の駅ながいき村」の基本構想はこれだ(道の駅イメージ)

4. 資料編

- 4-① 道の駅情報サイト一覧
- 4-② 本事業のまとめ(委員構成、事業一覧)

1. 「道の駅」とは？

1-① 道の駅の概要と施設イメージ



※イラストは国交省道路局HPより引用

○「道の駅」の概要

道路利用者と地域住民に「休憩機能」・「情報発信機能」・「地域交流機能」の3つを提供する個性豊かな拠点施設

○「道の駅」の特徴

- ・広い駐車場と清潔なトイレ、休憩施設を提供
- ・地域文化や観光情報の発信と地域交流促進
- ・特産品販売や飲食その他施設による地域活性化



○施設イメージ・・・3つの基本施設

1. 情報提供、休憩施設
2. 地域振興施設(物販、飲食、文化など)
3. トイレ

1-② なぜいま道の駅が求められるのでしょうか

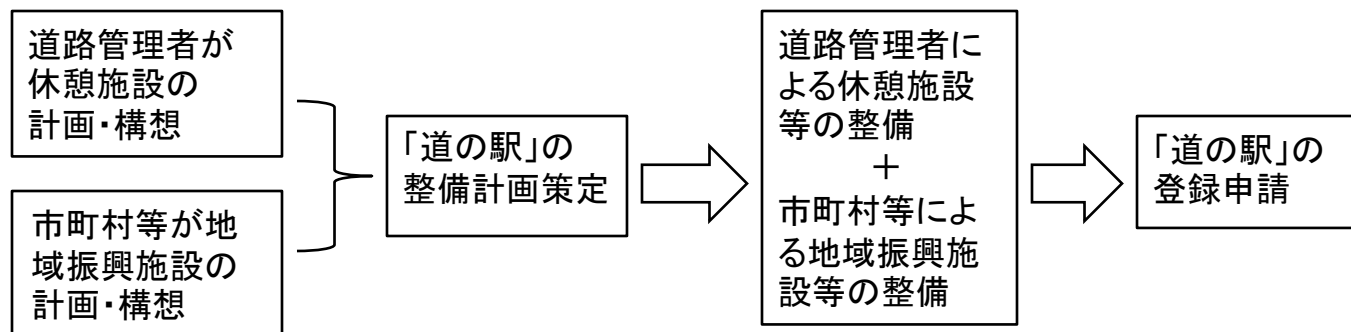
→ドライバーに快適さを提供します。

- ・清潔なトイレ ・安全な駐車スペース ・休憩コーナー ・地域情報(観光、文化)の提供
- ・特産品の買物や郷土色豊かな食事 ・文化体験など

→地域活性化に貢献します。

- ・農水産物や土産物の販売、地産地消レストラン、観光PR、レクリエーションや文化施設等運営の拠点として、経済活性化、雇用創出、文化振興、環境保全など総合的・地域活性化に貢献します。

1-③ 道の駅ができるまで



2. 「道の駅」による地域活性化

2-① 県内の道の駅の活動事例紹介

○「道の駅」は21年12月現在、全国に約920駅、
千葉県内に20駅が稼働し、特徴ある地域づくりの
拠点として観光客や地域住民に親しまれています。



千葉県には、次の20の道の駅があります。			
1	とみうら	国道127号	千葉県南房総市富浦町青木123-1
2	三芳村	(主)富津館山線	千葉県南房総市川田82-1
3	やちよ	国道16号	千葉県八千代市米本4905-1
4	きよなん	国道127号	千葉県安房郡鋸南町吉浜516-1
5	鴨川オーシャンパーク	国道128号	千葉県鴨川市江見太夫崎22
6	ローズマリー公園	(県)和田丸山線	千葉県南房総市白子1501
7	ふれあいパーク・きみつ	千葉鴨川線	千葉県君津市笹子椿1766-3
8	しょうなん	主要地方道船橋我孫子線	千葉県柏市箕輪新田59-2
9	たけゆらの里おおたき	国道297号	千葉県夷隅郡大多喜町石神870-5
10	多古	国道296号	千葉県香取郡多古町多古字谷中1069-1
11	あずの里いちはら	市道13号線	千葉県市原市浅井小向492-1
12	くりもと	(県)成田小見川鹿島港線	千葉県香取市沢1372-1
13	ちくら・潮風王国	国道410号	千葉県南房総市千倉町千田1051
14	富楽里とみやま	(県)外野勝山線	千葉県南房総市二部1900
15	おおつの里	(県)犬掛館山線	千葉県南房総市富浦町大津320
16	オライはすぬま	(主)松尾蓮沼線	千葉県山武郡蓮沼村ハ4826
17	ながら	(主)千葉茂原線	千葉県長生郡長柄町六地藏138-1
18	つどいの郷むつざわ	(主)大多喜一宮線	千葉県長生郡睦沢町上之郷2048-1
19	白浜野島崎	国道410号	千葉県南房総市白浜町滝口9240
20	南房パラダイス	(県)南安房公園線	千葉県館山市藤原字平砂浦1495番地

2-① 県内の道の駅の活動事例紹介

☆たけゆらの里おおたき☆

名称 接面道路	駐車台数 トイレ数	敷地面積 施設面積	・設置主体 ・従業員数 ・管理団体 ・管理費用	建設費 資金(補助事業名)	レジ通過客数 売上高(H20)
たけゆらの 里おおたき 大多喜町 石神855 国道297号 線	大型5台 小型56台 身障2台 男小9 男大5 女13	・敷地4,500㎡ (1,364㎡) ・主建物(農産物、郷 土料理)525㎡ ・休憩所、トイレ297㎡ ・乳製品工房429㎡	・大多喜町 ・指定管理者は「(有)たけ ゆらの里大多喜」 ・資本金3,500万円は出 資者の拠出金を町に 寄付し町が全額出資 ・社長は町長 ・直売所は「たけゆらの 里農産物直販組合」 が運営、組合員227名、 手数料15～16.5% ・郷土料理コーナーは会 社が直営 ・職員8名、パート8名 ・トイレ管理及び建物大 規模修繕は町負担	・主建物(農産物、郷土料理)3億 「地域農業基盤確立農業構造改善 事業」(国1.2億、県0.3億、町債1.47 億、一般支出0.03億)計3億 ・乳製品工房2億 「山村振興等農林漁業特別対策事 業ウルグアイラウンド」(国1.0億、県0.2億、 町債0.796億、一般支出0.004億)計2 億 ・道路改善工事1.74億 「県道路施設整備事業」(県1.74億) 計1.74億 ※町債2.266億(償還期間25年)のう ち70%は交付金で還付	57万人 直売所2.8億 郷土料理0.62 億 計3.5億 ※「寄付金」と して町へ年間 0.3億納付(H19 まで)

○農産物コーナーへの出展物・・・

- ・野菜、果物、山菜、ハムソーセージ、漬物、ジャム、パン、弁当
- ・米、菓子類、竹炭、木酢液、竹木加工品、手芸品、本、陶器
- ・切り花、鉢物、メダカ、福祉施設製の石けん類

○これからの課題・・・

- ・簡素な建物で店内スペースを広くとったほうがよかった
- ・専業農家を強化し素人農家とのバランスをうまくとる
- ・職員の向上が大切。金と手間をかける

☆たけゆらの里おおたき☆

農産物棟

郷土料理棟

休憩所

トイレ棟



農産物コーナー店内

○朝8時から商品納入、バーコード品質表示は生産者が行い、栽培履歴も出す。値引き、廃棄、持ち帰りは会社の判断。



郷土料理コーナー

○人気メニューは、祭り寿司、ちらし寿司、いのしし丼、竹炭そばと華寿司セット、たけんこカレー、ソフトクリーム。

2-① 県内の道の駅の活動事例紹介

☆鄙の里みよし☆

名称 接面道路	駐車台数 トイレ数	敷地面積 施設面積	・設置主体 ・従業員数 ・管理団体 ・管理費用	建設費 資金(補助事業)	レジ客数 売上高
鄙の里 みよし 南房総市 川田82-1 (主)富津館 山線	大型8台 小型70台 男小15 男大2 女8	・敷地10,185㎡ (3,080坪) ・物産センター(直売所) 502㎡ ・交流センター(物産販 売、オープンキッチン、レス トラン)886㎡ ・乳製品加工施設 259㎡	・旧三芳村(南房総市) ・指定管理者(株)鄙の里 ・資本金765万円、うち 535万円69.9%は南房 総市が出資 ・社長は南房総市長 ・直売所は農事組合法 人「土のめぐみ館」が 運営、手数料15% ・交流センターレストランは(有) カンツリーマムが経営 ・職員10名 ・市へ賃借料月23万を 納付 ・道の駅部分(トイレ等)経 費は市が負担	・物産センター2億 「農業農村活性化農業構造改善事 業」(国1.0億、村債0.656億、一般支 出0.344億 億)計2億 ・交流センター2億 「県単たくましい房総農業推進事 業」(県1.0億、村債0.656億、一般支 出0.344億)計2億 ・乳製品加工施設1.51億 「農業農村活性化農業構造改善事 業」(国0.755億、村債0.2億、一般支 出0.555億)計2億	31万人 ※売上非公開 (株)鄙の里収支 (21.3.31期) 売上8,879万 原価4,022万 販管費4,769万 営業利益88万 税前利益36万 法人税等18万 当期利益18万

○(株)鄙の里の特長・・・

☆農業収穫体験(年間)→ ・いちご狩り4,675人531万円 ・みかん狩り18,385人735万円 ・花摘み18,247人 665万円

☆人気の商品→ ・製造直売の牛乳、アイス、ヨーグルト ・地ビール

☆ほかに、軽食屋台、足湯、足つぼロード

☆鄙の里みよし☆



農村レストランカントリーママ



オープンキッチンでは料理教室も開催



地元食材の
人気メニュー
「伏姫御膳」



ドライブ客にはうれしい無料の「足湯」と「足つぼロード」。最近の道の駅にはこういったサービス施設の設置も増えている。



2-① 県内の道の駅の活動事例紹介

☆オライはすぬま☆

名称 接面道路	駐車台数 トイレ数	敷地面積 施設面積	・設置主体 ・管理団体 ・従業員数 ・管理費用	建設費 資金(補助事業名)	レジ通過客数 売上高(H20)
オライ はすぬま 山武市蓮 沼ハ4826 (主)松尾蓮 沼線	大型4台 小型75台 身障2台 男小5 男大3 女6	・敷地6,527m ² (1,980坪) ・農産物直売所339 m ² ・レストラン168m ² ・産業会館(観光案 内所、組合、商工 会) 232m ² ・発電用風車3基	・旧蓮沼村(山武市) ・山武市直営(起債の 要件) ・運営は「オライはすぬ ま企業組合」へ委託。 組合が使用料(売上の 15%)を市へ納付し同額 を委託費として組合へ 交付(H20は5,800万円) ・組合は出資金100万、 組合員7名、役員9名。 職員(出品者)40名 ・組合が直売所、レスト ランを直営	・総事業費(用地取得、造成、建 物)4.56億 ・資金内訳 ①地方債1.03億 (地域活性化事業債、地域再生事業 債) ②基金充当3.12億 (ふるさと創生基金、地域振興基金、 土地開発基金) ③一般支出0.41億 ※地方債2口(0.257億、0.771億)は JA山武市よりH16借入、10年償還、 固定金利1.49%	30万人 物販3.86億 ※前年比108% レストラン0.59億 計4.45億

○オライはすぬまの特長・・・

- ☆売り場効率がよい
- ☆レストランメニューにこだわり
- ☆集客イベントの強化
- ・「新鮮・安心・健康」がモットー
- ・地元食材、郷土料理、安い
- ・お買い得屋台イベント、収穫体験、癒し体験イベント、お客様感謝パフォーマンスなど

☆オライはすぬま☆



前庭が広くイベント会場になる。海らしいオブジェも



店内



レストラン 蓮味



人気のいわし丼となめろう定食

2-② 農産物直売所の活躍

○直売所は全国に1万3千施設 売上高(H20)は1兆円 ※セブンイレブンは約12,600店舗

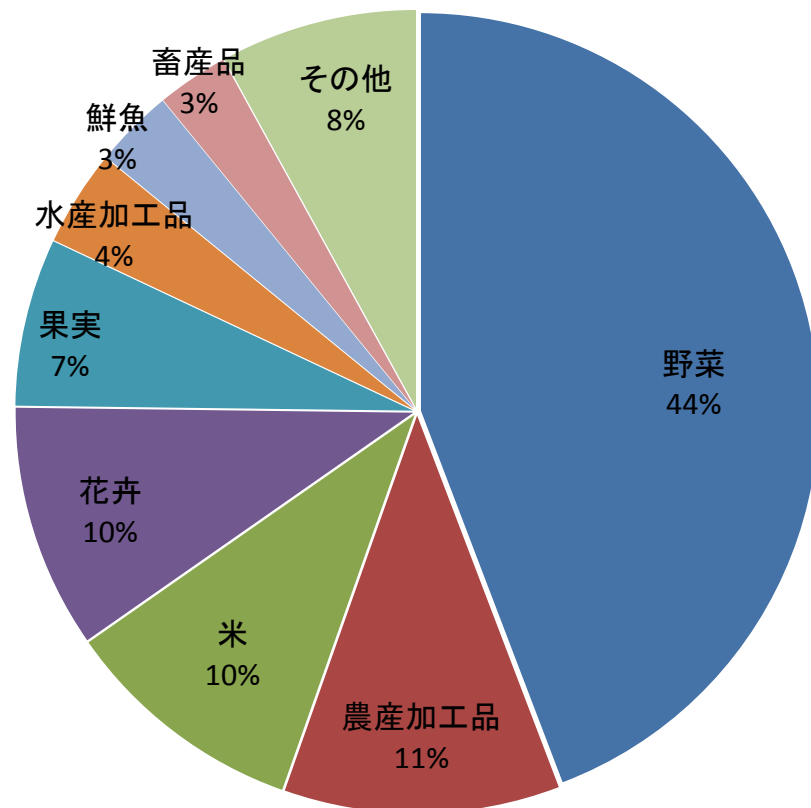
○千葉県内に217店(21年3月期) ※資料:千葉県農林水産部

- ・1か所あたりの平均売上高・・・1億1,400万円(H15は7,400万円、54%増)
- ・年間購入者数・・・8万2千人(客単価1,724円)(H15は5万6千人、46%増)
- ・平均売り場面積・・・141m²(約43坪)
- ・平均出品者数・・・79人

○県内直売所の販売品目(右図)

○県内直売所の設置主体(217店内訳)

設置主体	件数	割合
農林漁業者の団体	93	42.9%
農協・漁協	55	25.3%
市町村	34	15.7%
農業法人	20	9.2%
民間業者	6	2.8%
その他(公益、NPO、3セク)	9	4.1%



2-② 農産物直売所の活躍

☆ふれあいパーク八日市場・・・来客数150万人、売上7億円

○設立の経緯

- ・旧八日市場市地域は、水稻、野菜、酪農、養豚、花卉などバランスのとれた農業構成で特に植木農家は700戸で高い造形技術を誇るものの1戸あたり生産額は低い。
- ・昭和62年より市役所駐車場での日曜朝市が好評で、JAが常設直売所を開設した。また、朝市組合の法人化など消費者交流による農業生産活動活性化気運が高まった。
- ・平成8年の「グリーンツーリズム整備構想策定事業」(国のソフト)ほか9年及び11年に研究事業を実施し、総合交流ターミナル構想施設整備計画が検討された。
- ・平成12年に用地買収と造成工事、13年に建設工事、14年3月にオープンに到る。

○施設概要

- ・敷地 15,000m²(4,500坪) うち駐車場2,700 m²(88台)、植木見本市3,500 m²
- ・建物 ターミナル棟682 m²(207坪) 温室150 m²

○事業費概算

- ・総事業費6億7千500万円(用地2億9千万、造成3,900万、建設工事3億4千600万)
- ・資金調達 起債「地域活力創出事業(地域総合整備事業)」

☆ふれあいパーク八日市場☆ 匝瑳市飯塚309-2東総広域農道と県道匝瑳山田線交差点に位置。



○「売れる商品」をめざし品質重視を徹底。生産者は130人。500品目。

☆消費者ニーズへの取り組み・・・

- ①生産者名を商品に明記する
- ②ちばエコ栽培など低農薬栽培を基本に履歴シートにより自己チェック。
- ③消費者の圃場見学交流会を開催。
- ④苦情3回で1か月出荷停止などの生産者相互ルールでの取り決め。

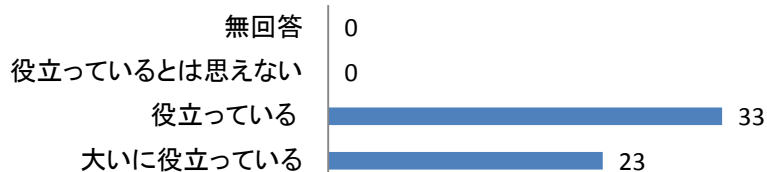


○「レストランの香」は地元産の米、野菜、小麦、豚肉などをふんだんに使ったメニューは多彩で、地域の常連客も多い。

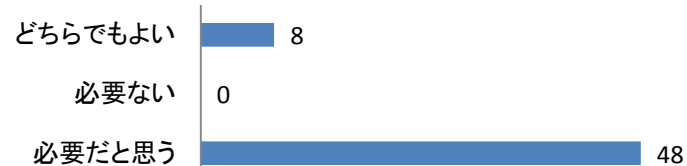
2-③ 道の駅に期待される地域活性化効果…地域事業者(商工業、農業)の意見まとめ

☆視察研修・懇談会(21.10.15)の参加者、委員会・研究会(8/27,10/16,11/20,1/29)におけるアンケート結果☆
回答56人(商工業者、農家、主婦、後継者、住民の方々。年齢30代～70代。男性36人、女性20人)

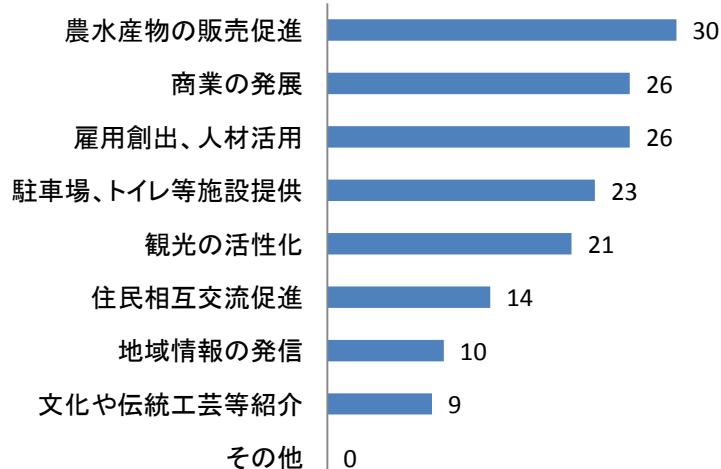
①道の駅は地域活性化に役立っているか



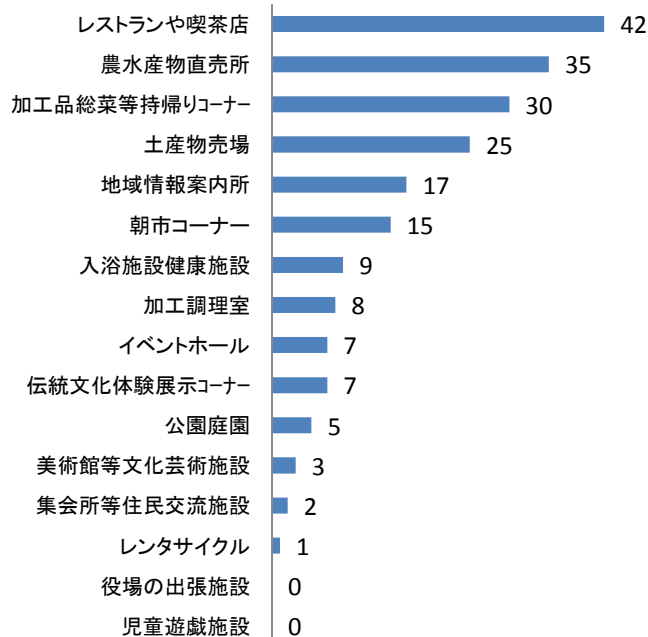
②長生村に必要なと思うか



③期待する効果(3つ選択)



④必要な施設(5つ選択)



まとめ…商工業や農業の事業者の方々が中心なので積極的な意見が多かった。また、回答者は、消費者や女性、一般住民などでもあり、関心の高さを感じた。

2-③ 道の駅に期待される地域活性化効果…懇談会・委員会・研究会における意見要約

○道の駅の特長やコンセプトについての考え方…

- ・道の駅は似ているところが多いので差別化が必要。
- ・道の駅ならではのサービスの提供を心がける。
- ・一社でも多くの事業者が参加できるように。
- ・地域活性化には観光振興が欠かせないので連携を。
- ・まず地元の人に愛される店に。
- ・場所選びがなにより大切。
- ・村の特性を生かす店づくり。
- ・道路条件のよいところ、広い土地のところをさがす。

○道の駅の内容や施設に関して…

- ・公共施設例えばトイレなどの充実、広くてきれい。
- ・入りやすい店作りに心がける。
- ・お土産や食事だけでなく観光スポットとなるような施設をつくる。入りやすい温かいイメージも。
- ・地域の特性を出す品揃え。
- ・食事へのこだわり、安全性と便利さ。

○経営方針などについて…

- ・特産品の選定と他駅との差別化がポイント。
- ・役所を終えた人などを責任者にしないこと。
- ・採算性、運営体制、地域住民との連携を図る。
- ・地域活性化につながるような場所の選定。
- ・農産物も直売すれば何倍にも売れるので加工品で付加価値を付ける。
- ・何よりも採算性を図るように。
- ・経営方針の確立、品揃えと運営ノウハウの研究確立。
- ・人材の募集と育成にこころがける。
- ・誰でも参加できるしくみを、みんなが儲かるように。

○補助金や資金について

- ・補助金を安易に利用しない。自立できる小規模から。
- ・はじめからある程度の規模が必要、国県が施設にお金を出してくれる制度を活用すべき。中身をがんばればよい。
- ・民間人はすべて自弁のところ地域活性化だから補助がある、やる気がある人の為の補助制度はなるべく活用したい。
- ・補助金をあてにするならやらない方がよい。

○事業のすすめ方に関する考え方

- ・反対者もいると思うので何よりも話し合いが必要。
- ・行政や議会の理解、連携を得ながら進めるように。
- ・みんなの意見をよく聞いて最後の責任は事業者が取る覚悟が必要。
- ・業者は真剣、やる気はみんな持っている、初期投資を抑えられるのが道の駅の制度だ。
- ・村外の企業や人材の参加活用、連携が大切。
- ・行政との密なる連携、話し合いが必要。

3. 「道の駅」をつくるとしたら

3-① 道の駅の収支計画の考え方

※清水ビジネスソリューションオフィスのプランニング要約

☆一般的な収支計画の立て方

- (1) 予想経費の算出 固定費：人件費、水道光熱費、減価償却費、賃借料、支払利息など
- (2) 予想売上高を算出 飲食店の1日の売上高＝平均客単価×(席数×回転数) 注意：カッコ内は1日の顧客数
小売店の1日の売上高＝顧客数×客単価 または 販売数×商品単価
- (3) 予想粗利額を算出 粗利額＝売上高×(1－売上原価率) 注意：カッコ内は粗利率
- (4) 利益を計算 経常利益＝粗利額－固定費
- (5) 収支を計算 経常利益＋減価償却費－法人税－元本返済額＝ プラスならOK マイナスならNG

☆道の駅のシミュレーション… 投資予算を計上し、売上と経費を想定して、資金調達方法とテナント料の違いによる3つのケースを考えてみましょう。

○条件設定

- [運営形態] 店舗構成…①直売所(テナント賃貸)、②レストラン(テナント賃貸)、③物販コーナー(会社直営)
- [出資金] 出資金…2,000万円
- [設備投資] 土地取得+造成費5,000万円、建物800㎡1棟建設1.5億円(坪約62万、内装備品費込)、合計2億円
- [運転資金] 運転資金…1,000万円 (参考：尼が台直売所売面約60㎡ スーパーランド茂原建面約1,340㎡)
- [売上及収入] 売上高…直売所1.5億、物産コーナー1億、レストラン5千万 合計3億円
収入額…テナント料(直売所売上1.5億、レストラン売上5,000万の10%)を2,000万、物販の粗利益(売上1億×利益率20%)を1,500万、合計4,000万円 **※売上高の算出根拠は17ページ参照**
- [運営経費] 3,000万円(金利、償却費は除く) 人件費：社員4名×400万=1,200万、パート7人×10万×12月=840万
水光費：月40万、年間480万、その他：月40万、年間480万
- [その他] 減価償却…償却年数20年(償却率0.05)、償却方法は定額法
借入金…金利3.5%、15年元金均等償還
法人税等税率…40%

3-① 道の駅の収支計画の考え方

☆ケースごとのシミュレーション・・・

ケース①→直売所・レストランのテナント料10% 物販利益率20% 補助金ゼロ(融資1億9千万円)

ケース②→直売所・レストランのテナント料10% 物販利益率20% 補助金9千万(融資1億円)

ケース③→直売所・レストランのテナント料15% 物販利益率20% 補助金ゼロ(融資1億9千万円)

(単位:千円)	ケース①	ケース②	ケース③
売上高	300,000	300,000	300,000
売上原価	260,000	260,000	250,000
粗利額	40,000	40,000	50,000
販売管理費	39,000	34,500	39,000
営業利益	1,000	5,500	11,000
営業外費用	6,447	3,054	6,447
経常利益	-5,447	2,446	4,553
減価償却費	9,000	4,500	9,000
法人税	0	978	1,821
元本返済額	12,667	6,000	12,667
資金残高	-9,114	-32	-935

<解説>

- ・ケース①は、直売所とレストランのテナント料を10%に抑え、物販利益率を20%確保するものと考えた場合で、補助金はなしとし、所要資金2億1千万円のうち1億9千万円を借入金で調達した場合のシミュレーション。利益の中より元本を返済すると約900万円の資金不足になる。
- ・ケース②は、ケース①と同じ条件で、設備投資2億円のうち9千万円を補助金でまかなえた場合で、支払利息と元本返済が少なくなる分、資金バランスがほぼ均衡している。
- ・ケース③は、補助金がないときには、直売所とレストランのテナント料を15%にすることによって、資金不足が約90万円に抑えられ、ケース①の場合よりはかなり圧縮されることをあらわしている。

☆売上高の算出根拠…一般的な売上高算出手法と道の駅事例実績などから売上高を予測してみます。

1. 直売所のシミュレーション

○前提条件：・予想平均商品単価100～200円 150円としてシミュレーション

・顧客1人当りの客単価 1,000前後？ 150円の商品を6個で900円でシミュレーション

・顧客の購入頻度 常連客は4日に1回購入することを前提

○年売上1.5億円＝日売上410,959円→ 1日売上42万円を目標→ 1日の目標来客数は42万円÷900円＝466人→

丸めて500人→来店頻度が4日に1回とすると何人の常連客がいればお店が回るか→ 500人/日×4日＝2,000人

→ つまり2,000人の常連客がいれば、お店は回るということ。

○このぐらいの常連客を確保することは無理な数字ではないと思います。というのも三芳村の実績があるからです。

上記シミュレーションより予想年間来場者数は 365日×500人/日＝182,500人

この人数は三芳村の来店者数が一番最低であった平成6年度の197,166人を下回る数字です。

単純に長生村と三芳村の人口を比較しても、無理な数字ではなさそうです(それぞれの周辺人口を含めたとしたらもっと長生村が有利です)。そのため、直売所で1.5億円達成は可能性は十分あると思います。

2. レストランのシミュレーション

○前提条件：・昼のみの営業で平均単価650円と想定

・昼のみの営業で売上5,000万円なら入りたがる業者はあるはず。人員もそれほど必要とせず(特にセルフサービスならホールの従業員はいりません)。短時間労働のため人件費を安く抑えられます。

○年売上5,000万＝日売上136,986円→1日売上15万を目標→1日の目標来店者数は15万÷650円＝230人→丸めて250人

○この人数は直売所の来店者数が1日500人であれば、250人÷500人＝50% つまり50%の人が買い物ついでに食事を

すれば達成可能です。また、仮に直売所の来店者数500人の内30%の人、つまり150人が食事をすると予測した場合、

250人－150人＝100人。食事目的で100の人が来るようであれば目標達成は可能です。できるだけ、直売所とリンクさせる戦略をとり、買い物客が食事を取る工夫をすれば達成可能な数字だと思います。

3. 物産店のシミュレーション

○前提条件：・予想平均客単価500～1000円、間をとって750円と予測

○年売上1億円＝日売上273,972円→ 1日売上30万円を目標→ 1日の来店者数は30万円÷750円＝400人→切りのいいところですが、余裕を見て500人を目標。

○直売所に来た顧客がついでにお惣菜を買うといったケースでお惣菜単価250円とすると3品目買ってもらえれば目標達成です。達成は十分可能な数字であると思います。

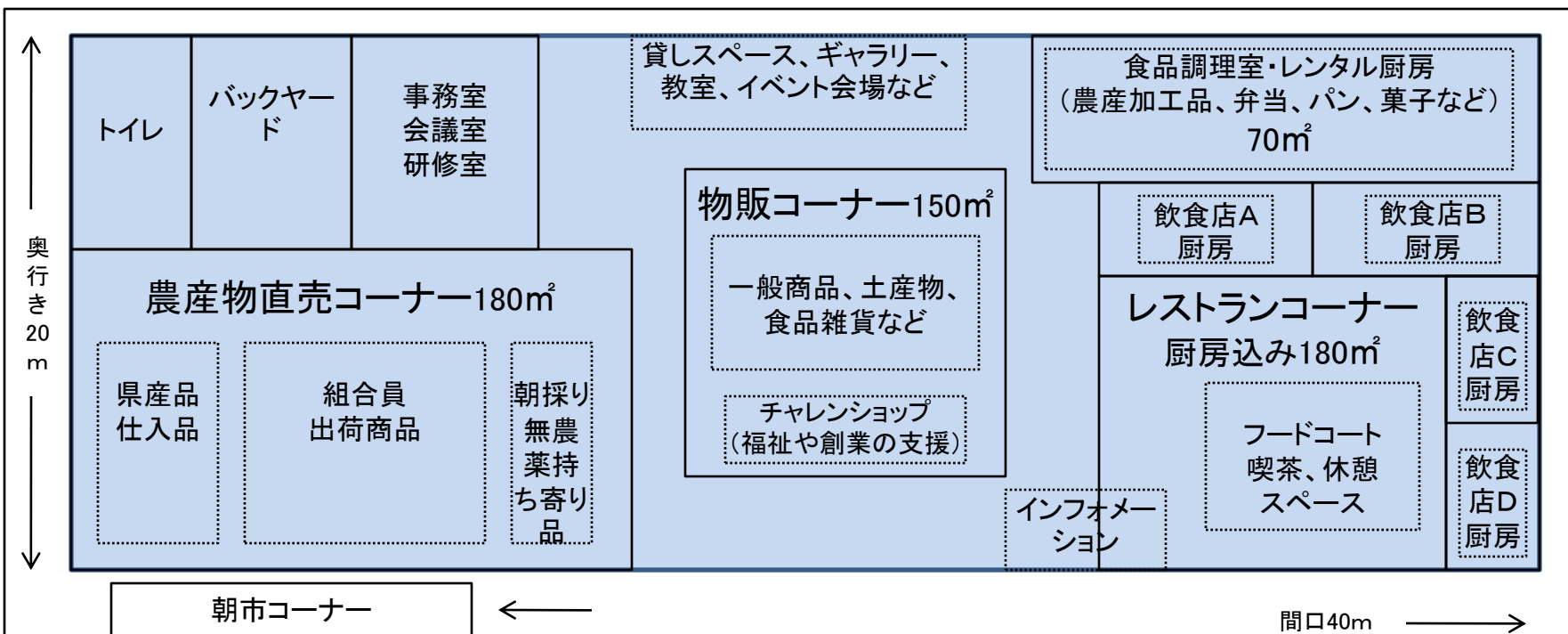
3-②長生村につくる場合のポイント(特長、立地、店舗構成、機能、組織など)

☆道の駅の骨格を決めよう・・・

①コンセプトと特長	安全・高品質の地域物産と郷土料理でスーパーとの違い。住民参加とビジネス支援で地域共生、異業種協業の拠点。
②想定する来店者	メインは地域住民と道路通行者、道の駅常連ファン
③場所はどこに	広い用地を低コストで確保でき、主要道路と近距離でアクセスできるところ。村有地、空店舗、県借地など
④施設概要と店舗構成	シンプル構造の建物1棟 農産物直売所、その他の物産販売、レストランの3部構成
⑤その他の施設と機能	調理加工所(レンタルキッチン)、貸しスペース(チャレンジショップ、ギャラリー、教室、イベントなどに利用)、朝市広場、インフォメーション、ネット販売
⑥参加者と組織	運営会社が統括。直売所とレストランは組合や業者へ賃貸(プロの支援)、物産販売、貸スペースは会社直営(ビジネスチャンス支援)

※平成17年千葉県主要道路交通量調査より		調査道路	調査地点 (上下線の一方向)	平日または は休日	車種			合計
					乗用車	バス	貨物車	
○調査時期	9月下旬～10月下旬の一日 (平日及び休日)	国道128号	一宮町宮原540 (宮原交差点付近)	平日	10,473	30	1,638	12,141
				休日	8,776	25	3,722	12,523
○調査時間	7:00～19:00の12時間	県道30号 (飯岡一宮線)	白子町古所3444 (白子IC交差点)	平日	2,907	21	803	3,731
				休日	3,568	45	1,595	5,208
		県道84号 (茂原長生線)	長生村本郷5366 (尼が台公園前)	平日	5,282	45	963	6,290
				休日	6,614	74	1,741	8,429
		国道297号	大多喜町船子交差点	休日の24時間	14,725		国交省全国道路情勢	

3-③ 「道の駅ながいき村」の基本構想はこれだ(道の駅イメージ)



- 農産物直売コーナーは、組合員出荷による地元新鮮野菜を中心に、お年寄りなどが丹誠した無農薬野菜の持ち寄り品及び県産品等の仕入品の3部構成。日曜日にはひさし下での朝市なども開催。
- 物販コーナーは、村内及び郡市の事業者による食品雑貨、土産物、総菜などの仕入販売を行う。多く参加できるしくみを作る。
- レストランは、複数店に厨房設備を賃貸し、飲食はフードコートでのセルフサービスで召し上がっていただく形式。
- 調理室とレンタル厨房は、会社が自社商品の調理に使用し、また組合員の農産加工品製造に利用するほか、住民グループなどにレンタルすることで、特産品開発や、起業創業をめざす人への支援に活用する。
- 貸しスペースは、希望者がギャラリーや趣味の教室、集会、イベントなどに気軽に利用するコーナーで、住民相互の交流促進と店舗への集客促進を期待するもの。
- チャレンジショップコーナーは、高齢者や主婦、障害者など意欲のある人が事業に取り組みたいときに、安価で使用できる店舗スペースを提供する機能をもつ。
- インフォメーションでは、観光案内、地域情報、イベント情報などを提供する。

4. 資料編

4-① 道の駅情報サイト一覧

- 国土交通省道路局「道の駅」 <http://www.mlit.go.jp/road/station/road-station.html#pagetop>
- 国交省関東地方整備局「道の駅」 <http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/road/eki/index.htm>
- 道21世紀新聞「ルートプレス21」 <http://route-press21st.jp/>
- (財)都市農山漁村交流活性化機構 <http://www.kouryu.or.jp/index.html>
- オーライ！ニッポン会議 <http://www.ohrai.jp/>
- 全国「道の駅」連絡会議 事務局 <http://www.michi-no-eki.net/Riyosha/R-001.php>
- 農水省農村振興事業施策 <http://www.maff.go.jp/j/nousin/index.html>
- 「ちばこく(千葉国道事務所)」 <http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/roadi-area/riyou/station/09.htm>
- 道の駅をたずねて何千キロ(個人サイト) <http://www.road-star.jp/michieki/>

4-② 本事業のまとめ(委員等構成)

委員氏名	委員会役職	事業所名	住所・所在地	電話番号	所属団体等役職
熊澤元一	委員長	ペンション&民宿太陽	長生村一松戊3451-109	32-5757	商工会観光・特産品委員長
伊藤義昌	委員	伊藤漬物工業㈱	長生村金田163	32-1525	商工会副会長・観光協会副会長
酒井洋樹	委員	スタジオコースト99	長生村一松丁576-1	30-0945	商工会副会長・観光協会長・村議
江口信市	委員	まつや衣料品店	長生村一松戊3253	32-1743	商工会理事・サービス店会会長
藍和夫	委員	波乗り有料道路一宮休憩所	長生村本郷2157	32-3452	商工会理事・観光関連事業者
東野一憲	委員	ウェルフ	長生村本郷2944-13	32-1168	商工会理事・都市計画、まちづくり
佐瀬浩	委員	農業(直売所代表)	(店)長生村本郷5336	32-5237	尼が台直売所組合長
高山昌治	委員	農業(アイガモ農法こしひかり)	長生村本郷1367	32-0417	米作農家・村議
鈴木信康	委員	㈲やまと水産・海の家やまと	長生村一松丁3568	32-0115	水産物小売業、海の家自営
㈱長生観光	委員	㈱長生観光	長生村七井土1385	32-1337	旅行業者
山本薫	委員	長生村産業課	長生村本郷1-77	32-2114	商工観光係長
時枝康治	委員	千葉県商工会連合会	千葉市中央区千葉港4-2	043-242-3361	企画振興課
清水真	学識委員	清水ビジネスソリューションオフィス	長生村本郷5561-7	32-2108	中小企業診断士
田名網祥隆	事務局	長生村商工会	長生村岩沼822	32-0152	商工会事務局
井桁孝雄	オブザーバー	㈲いげた保険事務所	長生村一松乙366	26-2201	長生村商工会会長
石川秀雄	オブザーバー	フードショップうおとよ	長生村一松170	32-2318	長生村サービス店会役員
小高徳夫	オブザーバー	㈱小高モーターズ	長生村岩沼1765-4	32-2237	長生村商工会青年部長
高瀬美智子	オブザーバー	㈲高瀬工業	長生村七井土1983	32-2627	長生村商工会女性部長、村議

4-② 本事業のまとめ(実施事業一覧)

- 委員会・研究会・・・21. 8.27(木)13:30 第1回委員会(事業計画及び予算案策定、委員構成検討)
21.10.15(木)18:00 第1回研究会(視察参加者及び事業者等による懇談、意見交換)
21.10.16(金)19:00 第2回委員会(県内道の駅等の調査報告、視察及び懇談会の意見報告)
21.11.20(金)18:00 第3回委員会(県内道の駅の事例研究、道の駅等のシミュレーション検討)
22. 1.29(金) 9:30 第2回研究会(報告書原稿及び基本構想の検討、これからの進め方検討)
22. 2.11(木)10:00 第3回研究会(報告書及び基本構想の素案の作成、これからの進め方検討)
22. 2.15(月)18:00 第4回研究会(報告書及び基本構想の策定、これからの進め方検討)
- 調査・情報収集・・・21. 9.7(月) 道の駅等訪問(むつざわ、おおたき、とみやま、みよし、丸山)熊澤ほか
21.10.5(月) 町村役場等訪問(多古、ふれあいぱーく八日市場、はすぬま、山武市役所)事務局
21.10.6(火) アンケート調査(会員事業所、農家他より110社へFAXアンケート、回収56件)
21.10.9(金) 町村役場等訪問(おおたき、大多喜町役場、南房総市役所、みよし、ながら)事務局
21.10.15(木) 視察研修会(鄙の里みよし現地研修会、とみやま、丸山、おおたき)委員及び事業者27人
22.2.14(日) 道の駅等補充調査(はすぬま、ふれあいぱーく八日市場、おおたき)熊澤ほか
- 基本構想策定・・・22.1月清水座長が報告書原稿、基本構想素案及び収支シミュレーションを作成
22.2月スタジオコースト99が報告書その他をPCデータに作成
- 成果公表・報告・・・22.2.5(金)石井村長へ井桁会長が経過報告
22.2.25(木)19:00報告会(商工会役員、役場関係者、農商工業者等を対象に報告会開催)参加32人